

卒業研究の事前テーマ調査(マンガ)

日本文学科 4 年 学籍番号 2013138 高田真由

I 漫画の定義

戯画、風刺画、カリカチュア(caricature)、カートゥーン(cartoon)、コミック(comic)、劇画等、多様な呼称が付けられた絵画分野、あるいはその総称。

(出典：相賀徹夫. 『日本大百科全書 22』. 小学館, 1988, p.195.)

このように漫画といっても現在我々がよく目にする「コマ分けがされていて、その中に絵と吹き出しが描かれているもの」だけではなく多くの手法があるため一般的には定義付けが難しいとされているが、『日本大百科全書』22 巻の「漫画」の説明ではあえて定義付けをすると「「遊びの心」あるいは「風刺の心」をもって描いた絵」だとしている。日本において「漫画」という言葉が大衆に定着したのは昭和初期と比較的新しく、これによって写真や映画に並ぶ近代複製美術の一大分野を形成するようになる。

I 漫画の歴史(世界)

【西洋】

西洋における漫画の出発点は寓意画(1)のような「呪術的あるいは宗教的意味で描かれた絵画以外の絵」にあるとされる。古代ギリシアでは人間の所業が戯画のテーマとして登場する。ルネサンス期になると人間の内面をより深く見つめた風刺画が描かれるようになり、さらにレオナルド・ダ・ヴィンチ、ピーター・ブリューゲル等の西洋漫画の基盤を作る人々が登場する。17～18 世紀にかけて西洋では人物の内面を描いたもの・事件等の風刺画が多く描かれ、近代漫画の出発点を形成していく。19 世紀に入ると印刷技術の発展に基づき漫画新聞・漫画雑誌・漫画本が盛んに刊行されるようになる。20 世紀は連載漫画やストーリー漫画が花開く。その描写は映画の表現技法からも数々の影響を受け、さらに漫画を動かして見せるアニメーションも同時期に急速に発展する。

(出典：相賀徹夫. 『日本大百科全書 22』. 小学館, 1988, p.198.)

(1)寓意

ある意味を、直接には表さず、別の物事に託して表すこと。また、その意味。

(出典：コトバンク『デジタル大辞泉』)

寓意画：とある事柄を、別の物で表現している画。

【アジア】

中国において記録の上で漫画が最初に登場したのは 11 世紀(宋代)の石恪(2)筆『玉皇朝

会図』の画中に描かれた風刺画だとされている。しかし、中国では近代に至るまでに日本に比べて漫画や風刺画の作品は少ない。「漫画」に相当する言葉も無く、「漫画」という言葉は大正時代に日本から輸入されたものである。中国で活発に漫画が描かれるようになったのは辛亥革命(1911年)前後からであり、反帝反封建を目指す民主革命が多くの風刺画を生み出し、漫画が独立した美術分野になる。韓国(朝鮮)でも中国同様に古代から漫画は存在していたとされているが、その歴史に関しては明らかになっておらず、近代以降日本の支配下において『京城パック』といった漫画雑誌が刊行された。韓国ではジャーナリズムの発展の中で漫画が多く描かれるようになった。

その他インドネシアでは1920年代半ば~30年代初頭にかけての民族運動時代から漫画が登場する。フィリピンでは戦後のマルコス政権末期に政治風刺画が禁じられる時代が続いた。アジア諸国においては戦後のジャーナリズム発展とともに漫画文化が花開く傾向がみられる。

(出典：相賀徹夫. 『日本大百科全書 22』. 小学館, 1988, p.198.)

(2) 石恪

中国五代、後蜀の画家。成都(四川省)の人。字は子専。

(出典：コトバンク『デジタル大辞泉』)

I 漫画の歴史(日本)

日本で描かれた漫画の現存最古のものとして平安時代末期に描かれた「鳥獣戯画」がある。古代・中世は肉筆によって漫画が描かれていたが、江戸期に入ると木版画によって漫画が描かれるようになる。明治時代になると新聞・雑誌等の定期刊行物が登場する事で、漫画はその中で発表の場を得て発展を遂げる。

(出典：清水勲『年表日本漫画史』. 臨川書店, 2007, p6-11.)

昭和に入ると講談社や中村書店で「子供漫画」という分野で話題作が次々と刊行されるようになる。第二次世界大戦後の戦後漫画は、何度かのブーム(1964年の漫画雑誌創刊ブーム・54年末の第二次漫画ブーム・62年の劇画ブーム)を経ながらストーリー物(劇画・コミック)の比重を増大させていく。現在、少女コミック誌・青年コミック誌・女性コミック誌を含めた漫画雑誌は年間10億冊以上発行され、漫画はあらゆる年代層の娯楽として浸透してきている。

(出典：相賀徹夫. 『日本大百科全書 22』. 小学館, 1988, p.195-198.)

I まとめ

「漫画」というものに関して、現在でも確立した定義というものは存在せず描かれる技法等も様々存在するため何をもって「漫画」をみなすのかについてははっきりしていない。

各国の漫画の歴史を調べたところ、現在は漫画は娯楽性の高いものとされているがもともとは西洋のように呪術的な目的から描かれるようになったものが起源だという歴史や大半の国々では政治的運動の発展で風刺画が多く描かれた事により漫画文化が大きく発展したという歴史がある事が伺えた。なお今回の卒業研究においては紙に描かれた漫画(単行本・雑誌・原画の形状のもの)、デジタルアーカイブ等電子化された漫画を研究対象としたいと考えている。

〈参考文献〉

- ・相賀徹夫. 『日本大百科全書 22』. 小学館, 1988, p.195-198.
- ・DIGITALIO. “デジタル大辞泉”. コトバンクウェブサイト, <https://kotobank.jp/dictionary/daijisen/>, (参照 2023-05-23).
- ・清水勲 『年表日本漫画史』. 臨川書店, 2007, p6-11.